

県外派遣報告書

審判員名	眞榮喜 工	所属	クラブ連盟	
大会名	平成28年度 第43回 全日本クラブバスケットボール選手権大会			
期間	平成29年3月18日(土)、19日(日)、20日(月)			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
3月18日(金)	審判員研修会	ホワイトイン高崎		
	審判会議	ホワイトイン高崎		
3月19日(土)	1回戦	ALSOKぐんまアリーナ・ヤマト市民体育館前橋		
3月20日(日)	2・3回戦	ALSOKぐんまアリーナ・ヤマト市民体育館前橋		
3月21日(月)	準決・決勝	ALSOKぐんまアリーナ		
講義内容				
<p>①ルールテスト(別紙参照)</p> <p>②Game コントロールについて 伊藤 亮介 映像研修・グループディスカッション</p> <p>ルールテストにて出題されたケースを、実際に起こった映像を用いてディスカッションをした。ひとつの判定の成否というよりは、その判定に至った根拠は何かを明確にすることを求められた。また、試合の中で、選手やコーチに説明を求められたときにどのような対応をすることが、より良い運営に繋がるかを意見交換した。どのような場合にも競技規則を根拠に必要な最小限の言葉で簡潔に伝えることが重要だと感じた。ヴァイオレーションやファウルだけでなく、選手やベンチのリアクションについても試合の始まりから終わりまで、一貫性を持った対応が必要となる。序盤で「まあまあまあ」で済ませようとする、終盤にコントロール出来なくなる。常に様々なことを想定して、不測の事態に如何に冷静かつ迅速に対応できるかがよい試合運営に繋がると感じた。</p>				
担当試合	期 日	平成29年3月18日(土)	男子	1回戦
	対戦カード	BUBBLES(近畿5位・兵庫) VS SWOOPS(東海1位・岐阜)		主審
	相手審判	山本 光太郎 氏(東北・宮城・次年度A級)		
ミーティング内容		主任 佐藤 弘之 氏(関東・群馬)		
<p>全体的には一貫して吹いていた(1つ2つ吹いてほしいものはあったが)。ポクシング・インは2人で協力してしっかりとできていた。</p> <p>【メカニック(リード)】ペイントエリアでの現象について、3POではセンターが鳴っていれば良いものでも、2POの場合は明らかなものに対しては、リードも一緒に吹いてほしい。</p>				
担当試合	期 日	平成29年3月19日(日)	男子	3回戦
	対戦カード	ALSOK GUNMA CLUB(開催県・群馬) VS 石川ブルースパークス(北信越1位・石川)		U2
	相手審判	R: 皆川 義紀 氏(本部・広島) U1: 山田 俊 氏(本部・宮城)		
ミーティング内容		主任 梶 崇司 氏(本部・栃木)		
<p>必要な場面で必要な笛を入れており、全体的に問題ない。(プレイヤーとのコミュニケーションをとる場面で、相対して話をする危険性は感じて欲しい)</p> <p>【ファウルの判定】UFのケース(ノーマル・ファウルでも良いケース)</p>				
全体の感想				
<p>大会前日の審判研修会に始まり、非常に充実した4日間でした。今大会は初日の男子1回戦、2日目の男子3回戦ともに、同世代クルーでの割当てを頂き、多くの刺激を受けることが出来ました。全国の仲間と繋がることが出来たことで、今後も切磋琢磨して精進していきたいと感じました。今回の経験を今後活かし、ステップアップするとともに、少しでもクラブ連盟、そして埼玉県内に還元していけたらと思います。今後も御指導、御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。</p> <p>今大会を通して、群馬県クラブ連盟をはじめ、日本クラブバスケットボール連盟、各都道府県の皆様に大変お世話になりました。本当に有難う御座いました。また、今大会へ推薦していただきました関東クラブ連盟、県内大会期間中にもかかわらず遠征を許可していただき、日頃より御世話になっております県内審判員の皆様、心より御礼申し上げます。</p>				